

第4学年 音楽科学習指導案	<h2 style="margin: 0;">からだで音楽をつくろう</h2> <p style="margin: 5px 0 0 40px;">日 時：平成 26年 11月 ○日 指導者：広島市立○○小学校 教諭 ○○ ○○ 児 童：第4学年○組</p>
------------------	--

### 1 題材について

#### 【題材の目標】

- いろいろな音の響きや組合せを楽しみ、多様な発想で即興的に表現することができる。

【学習指導要領】2内容 A表現(3)ア

#### 【教材】

「ロックトラップ」(シンシュタイン 作曲)

#### 〔共通事項〕

- (1)ア(7)  
音色, リズム,  
音の重なり

#### 【題材について】

本題材では、〔共通事項〕の中の音色、リズム、音の重なりに焦点を当て、いろいろな音の響きや組合せを楽しみ、多様な発想で即興的に表現できるようにすることをねらいとしている。児童の音楽経験の差異が少なく、児童に工夫する必然性をもたせることができると考えて、この題材を設定した。

教材としてシンシュタイン作曲の「ロックトラップ」を取り上げる。シンシュタインはアメリカの作曲家・音楽教育者・打楽器奏者である。そのため打楽器のための作品を多く残している。ボディパーカッションによるアンサンブルであるこの曲は、手拍子、スナップ、足踏み、口笛など体から出る様々な音色と、その組合せが魅力の作品である。4つのパートから成り、土台となるリズム、拍をきざむリズム、飾りとなるリズムなど、それぞれのパートの役割が分かりやすい。また体の動きも面白く、視覚的にも音の重なりを確かめることができる。

本題材を通して、自分の見つけた音色に自信をもち、友達の表現を大切に、音色やリズムを組合せる楽しさを味わってほしいと考える。

#### 【児童の実態】

本学級の児童は、3年生の「アフリカの音楽で遊ぼう」の学習で、8枚のカードからリズムを選び、リズム伴奏を作ることができた。

4年生の「おはやしや民ようを楽しもう」の学習で、音階を表した教科書の図を用いて旋律作りをし、友達と旋律を重ねて楽しむことができた。

児童の感想によると「楽しかった」「またやりたい」「音を重ねるとききれい」「友達のやっていることを私もまねしてやってみたい」など意欲的なものが多い。しかしながら「難しかった」「どうしたらいいのか分からない」など悩んでいる様子も見受けられる。

#### 【指導に当たって】

##### ○ 〔共通事項〕音色、リズム、音の重なり、及び〈学び合いの場〉の設定

- ・ 「ロックトラップ」で構成されている音色を児童と見つけ、それを模倣することで体を楽器とした音色に関心を向けられるようにしたい。例えば音価の短いリズムは両手を使ってひざを打っていたり、音価の長いリズムは足踏みを使っていたりする。模倣体験をふまえて体の動きとリズムを関連させてリズムパターンを考えられるようにしたい。
- ・ ペア学習では、リズムパターンを模倣し合うことで、自分の作品のよさに気付き、自信をもつことができるようにしたい。さらにリズムパターンをつなげたり重ねたりすることで、新たな音色を見つけ自分の表現を広げるとともに、組合せる楽しさを味わえるようにしたい。

## 2 学習指導計画

### 【既習事項】

- ① 時期 第3学年 10月
- ② 題材名 「アフリカの音楽で遊ぼう」
- ③ 題材の目標 アフリカの民謡に親しみ、リズム伴奏をつくることができる。

(全3時間)

時	教材	学習活動 (○) 学習内容 (・)	具体的評価規準 (評価方法)
第1時	ー ロ	○ 「ロックトラップ」を鑑賞し、様々な音色やリズムに気付く。 ・ 音色 ・ リズム	【音楽への関心・意欲・態度】 いろいろな音色や組合せに興味をもち、進んで表現しようとしている。 (発言の内容・演奏の聴取, 記述の内容)
第2時 (本時)	ツ ク ト ラ ッ	○ 音色や組合せを工夫し、リズムパターンを作る。 ・ 音色 ・ リズム ・ 音の重なり	【音楽表現の創意工夫】 いろいろな音色や組合せを工夫し、どのようにリズムパターンを作るかについて自分の発想をもっている。 (活動の観察, 発言の内容, 記述の内容)
第3時	プ ー	○ リズムパターンを組合せ、オリジナル曲を仕上げる。 ・ 音色 ・ リズム ・ 音の重なり	【音楽表現の技能】 いろいろな音色や組合せから得た発想を生かし表現している。 (演奏の聴取, 記述の内容)

### 【これからの学習】

- ① 時期 第5学年9月
- ② 題材名 「インターロッキングの音楽をつくろう」
- ③ 題材の目標 リズムがかみ合わさっている音楽をもとに、音の重なりや組み合わせを工夫し表現することができる。

## 3 本時の目標 (2/3時間)

- ☆ いろいろな音色や組合せを工夫し、どのようにリズムパターンを作るかについて発想をもつことができる。
- ★ 友達の作った音色や組合せを参考にし、自分の表現に生かすことができる。

## 4 授業の視点

- ・ 友達の作った音色や組合せを模倣するなどして参考にすることは、児童一人一人の多様な発想を広げるために有効であったか。

5 本時の展開 (2/3時間)

学習活動	教師の働きかけ(指示・説明・発問等) 予想される児童の姿(・)	教師の支援(○) 個への支援(※)	評価(☆) かかわり合う力(★) (評価方法)
1 音楽ゲームをする。	指 音楽ゲームをしましょう。	○ 本時の学習につながるよう、手・足・ひざなど様々な音色を体験させていくようにする。	
2 今日のめあてを確認する。	音色を工夫して リズムパターンを作ろう		
3 リズムパターンを作る。	指 手・足・ひざなどの音色を使ってリズムパターンを作りましょう。	※ アイデアを着想することが困難な児童の近くで、教師がいろんな音色やリズムパターンを示したり、すでに作っている児童のリズムパターンを演奏したりして、参考となるようにする。	
4 ペアでリズムパターンを交流する。	指 作ったリズムパターンをペアで交流しましょう。まねっこしたり、つなげたり、重ねたりしましょう。 ・「ペアと音色が似ているから変えたい。」 ・「ペアがやっているから、休みのところに口笛を入れてみたい。」 ・「リズムを細かくしたいなら、ひざがいいよと言われたからやってみよう。」		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>&lt;学び合いの場&gt; 友達の作った音色や組合せを参考にし、自分の表現を広げる。</p> </div>
5 全体で工夫した点を交流する。	発 どのようにリズムパターンを作りましたか？ ・「音色を変えたかったので、いろんな打ち方で手を打った。」 ・「ペアが使っていて面白かったので、口笛を入れた。」	○ 体のどの部分のどんな音色を使っているかに注目して聴くよう観点を示す。	☆ いろいろな音色や組合せを工夫し、どのようにリズムパターンを作るかについて発想をもっている。 【音楽表現の創意工夫】 (活動の観察、発言の内容、記述の内容)
	指 今日の学習について、振り返りカードを書きましょう。	○ どのようにリズムパターンを作ったかについて発想を説明しているカードを取り上げる。	★ 友達の作った音色や組合せを参考にし、自分の表現に生かそうとしている。 (活動の観察、発言の内容、記述の内容)
6 次時の学習への見通しをもつ。	説 次回はリズムパターンを組み合わせましょう。		

## 6 本時の評価規準

学習活動における具体の評価規準	【音楽表現の創意工夫】 ☆ いろいろな音色を工夫し、どのようにリズムパターンを作るかについて自分の発想をもっている。
具体的な評価の方法	リズムパターンを作るときの活動を観察したり、発言の内容を聴いたりして判断する。またワークシートの記述の資料とする。
Aと判断する場合の例	〈Aと判断するキーワード〉 ◇ 音色の豊かさ ◇ 体の動きとリズムの関連がある  Aの対象となるのは、意欲的にリズムパターン作りに取り組み、いろいろな音色を工夫している児童である。どのようにリズムパターンを作るかについての発想を説明できる児童もAの対象としたい。
Cと判断する児童への働きかけ	アイデアを着想することが困難な児童の近くで、教師がいろんな音色やリズムパターンを示したり、すでに作っている児童のリズムパターンを演奏したりして、参考となるよう支援する。

## 7 板書計画

めあて 音色を工夫して リズムパターンを作ろう						
1 音色の種類	2 リズムパターン	3 まとめ				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・手</li> <li>・足</li> <li>・指ぱっちゃん</li> <li>・ひざ</li> <li>・口笛</li> </ul>	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="width: 20px; text-align: center;">1</td> <td style="width: 20px; text-align: center;">2</td> <td style="width: 20px; text-align: center;">3</td> <td style="width: 20px; text-align: center;">4</td> </tr> </table>	1	2	3	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・打ち方を変えると、同じ手でもいろんな音色が出る。</li> <li>・口笛の音色は面白かった。</li> <li>・足踏みは、ベースになりそう。</li> <li>・ひざは細かいリズムを打つのにいい。</li> </ul>
1	2	3	4			